



力強く餅をつく参加者



餅つきで絆深め心ひとつに

衣川区

小正月行事で交流会

NPO法人こぶしの会（千田^{みのる}理事長）と衣川手をつなぐ育成会（千葉静雄会長）が主催する交流会が1月21日、衣川保健福祉センターで開かれました。これは、障がい者への理解を深め、共に支え合う地域社会の実現を目指して毎年開催されているものです。

交流会は、華やかな衣装に身を包んだ参加者の大黒舞でスタート。区内の障がい者とその家族ら約40人の参加者は、餅つきやみずきだんご、ゲームや歌で小正月行事を楽しんでいました。

春祭り成功に決意を新たに

前沢区

前沢区42歳厄年連事務所開き

24年奥州前沢42歳厄年連「風雅^{ふうや}孩麗^{がいれい}会」（菅原勝敏会長、会員数206人）の祭典事務所開きが1月7日、約100人が出席し旧絹川書店で行われました。

神事に続き、前年42歳厄年連の千田^{さとし}祭典実行委員長から、石田博幸祭典実行委員長に歴史ある事務所看板が引き継がれました。菅原会長は「前沢春まつりの成功に向けて頑張る」と、決意新たにあいさつ。同会の創作演舞は「蒼き絆〜輝ける未来へ」。「希望の持てる未来へ」との願いを込め、祭りを盛り上げます。

風格のある看板を引き継ぐ石田祭典実行委員長（右）



雪中に輝く児童たちの笑顔

水沢区

第24回黒石親子ジャンボかるた大会

黒石小学校区子ども会育成会連合会、黒石公民館などが主催する「第24回黒石親子ジャンボかるた大会」が1月8日、黒石小学校校庭を会場に開催されました。この日は好天に恵まれ、同校の2年生から6年生までの児童33人と保護者らが参加。

児童たちは、札が読み上げられると一斉に駆け出し、お目当てのかるたに飛びついていました。なかなか、かるたを見つけられない一幕もありましたが、児童たちは雪にまみれながら満面の笑みを見せていました。



お目当てのかるたに駆け寄る児童たち



万感の思いを胸に「ふるさと」を演奏する出演者たち

音を奏で慈しむ心は永遠に

胆沢区

胆沢カルチャークラブ「音楽のつどい」

胆沢カルチャークラブの「音楽のつどい」が1月9日、胆沢文化創造センターで行われ、約100人が出演しピアノや弦楽器などで豊かな音色を披露しました。

平成5年にピアノとギターで始まった音楽講座「カルチャークラブ」は、本年度で全7コースが終了します。プログラムには、昨年12月に逝去した上田誠講師に弦楽奏を捧げる一場面も。フィナーレでは18年間の集大成として「ふるさと」を、講師と生徒が心を一つに演奏していました。

きみの居場所はこちらにある

前沢区

前沢区の千田桐也ちゃんにいすが贈呈



いすに座る千田桐也ちゃんと母の智重さんら

東日本大震災が発生した23年3月11日に誕生した千田^{とん}桐也ちゃん＝前沢区古城字北町＝に1月18日、手作りの「希望の『君の椅子』」が贈られました。贈ったのは北海道の「君の椅子」プロジェクトの磯田憲一代表や佐々木智雄・北海道剣淵町長ら4名です。

ナラ材を用いた乳幼児用のこのいすには「生まれてくれてありがとう、君の居場所はここにあるからね」という思いが込められています。前沢総合支所で行われた贈呈式では、桐也ちゃんの母の智重さん（35）が「頂けるのを楽しみにしていました。（桐也ちゃんが）生まれてきてよかった」とうれしそうに喜びを語っていました。

施設を充実して魅力アップ

衣川区

国見平温泉がリニューアルオープン

衣川いきき交流館国見平温泉が、2カ月半の改修工事を終え1月31日に、リニューアルオープンしました。工事では、好評だった電気風呂の増設や、玄関に防寒扉を新設するなど設備を充実しています。

オープニングイベントとして、行山流都鳥鹿踊保存会（胆沢区南都田）の演舞が披露され、テープカットでオープンを祝いました。営業再開を待ちわびた市民ら約200人が訪れ、つきたての振る舞い餅を味わい、久しぶりの温泉を満喫していました。

オープンを祝ってテープカット



衆^{さむらひ}戸^{とぎ}木^ぎの上で、氣勢を上げる年祝連の男

寒雪のなか男衆の願い熱く

江刺区

伊手熊野神社蘇民祭

伊手熊野神社蘇民祭は1月21日夜から翌未明にかけて、同神社境内で開かれました。雪がちらつく厳寒の中、厄年を迎える男衆らが下帯に足袋姿で火たき登りや蘇民袋争奪戦を繰り広げ、五穀豊穡と厄よけを祈願しました。

400年以上の伝統を持つ同祭。県内最大といわれる火たき登りでは、静閑な山あいに男衆の「ジャッソー・ジョヤサー」の掛け声が響き渡り、燃え盛る炎は観客の頬を赤く染めていました。